

## Type-A レーザ発振器の生産中止、およびリファービッシュ品の提供終了に伴う後継品への切り替えのお願い

### 対象機種

---

DFL7160 (DAF レーザカット、および一部グルーピング機が対象)

### 生産中止に伴うレーザ発振器の切り替えについて

---

Type-A レーザ発振器は、製品のリリース開始から 16 年が経過し、構成部品の調達が困難になっています。そのため、Type-A レーザ発振器の安定供給、および継続生産が難しくなり、サプライヤにより生産中止されることが決定致しました。

今後は、後継品 (Type-A2 レーザ発振器) への切り替えをご検討願います。

#### ・ Type-A レーザ発振器の生産中止について

対象品番 : DGMICSH3S01-1 (Type-A レーザ発振器)

2018 年 12 月末日以降に出荷される装置には、順次、後継品である Type-A2 レーザ発振器を搭載します。

#### ・ Type-A レーザ発振器のリファービッシュ品の終了について

対象品番 : DGMICSH3S03-0R (Type-A レーザ発振器リファービッシュ品)

リファービッシュ品の受注終了は、2022 年 3 月末日を予定していますが、諸般の事情により予定が早まる場合も予測されます。また納期もより長くなるおそれもあります。ご了承の程お願い致します。

### Type-A2 レーザ発振器の互換性について

---

スペック、形状、および電気接続において、Type-A とは差異があります。既に出荷済みの装置に、Type-A2 レーザ発振器を搭載する場合は装置の改造が必要になります。また、レーザ発振器の検査内容、および検査基準に変更があります。

同一条件での加工においては、ほぼ同一の結果になることを弊社で確認していますが、加工結果に差異が生じる可能性があります。

レーザ発振器の切り替え前に、Type-A2 レーザ発振器によるテストカットの実施を推奨致します。初回テストカットは、無償にて実施させていただきます。

### お問い合わせ

---

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当、またはカスタマーエンジニアまでお願いいたします。

---